※令和４年度以降入学生用

学校番号	303

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「地理総合」　（実教出版）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE２０２３　（帝国書院）、基本地図帳（二宮書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地図帳、資料集などは必ず持参し、自ら興味を持てる事項を考え、調べ、発表します。
・地理歴史科は社会をいろいろな視点から眺めることでその社会を理解しようとする教科です。地理は地理的要因からそこに生まれ継続する人・物・文化と歴史を理解し、そこに起こりうる災害や土地の特性に気づき、解決策や住みやすさを生み出す力をつける科目です。

２　学習の到達目標

・教科書の内容を確実に身に付け、地図やグラフ・表・写真・映像を見るとその地域の状況を理解し、利点欠点に気づくことができる。
・授業で得た知識や調べる手段を活用し、防災やグローバル化が進む実生活に役立てられる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題について基本的な事柄や追究・調査の方法を理解し、調査内容に合った地図や情報を使い分ける技能と知識を身につけている。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察できる。国際社会の変化に対応しながら公正な判断をおこない、その過程とそこに含まれる問題点の発見、結果に対する解決策についての意見を適切に表現している。他者の意見についての賛同点や異論についての理由を判断し、表現できる。	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	・球面と平面 ・緯度と経度 ・日常生活のなかの地図 ・国家の領域 ・日本の位置と領域 ・国家間の結び付き ・モノ・人・情報のグローバル化 ・世界の交通、物流と日本 ・観光のグローバル化	a: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。地表面のとらえ方と地域発達の仕方等に関わる主題を意欲的に考察し、地理への関心を高めようとしている。 c:設定された主題について、国家間の結合などが複雑化していることを理解し、原因の究明になりうる意見を考えている。	授業プリント 定期考査 資料読解	授業プリント 定期考査 資料読解	授業プリント 定期考査 レポート
	自然災害と防災	・日本の自然環境 ・地震・津波と対策 ・火山災害と対策 ・風水害と対策 ・防災・減災への取り組み	a:通信機器を使用して、学校や居住地区の市役所のホームページからハザードマップを見つけだすことができる。 b:様々な災害用のハザードマップから、提示された主題についてのものを見つけ、避難時の課題を読み解くことができる。 c:知り得た情報を活用して、より安全な災害対策や避難対策についての意見を交換することができる。後世への災害伝達を担うことができる。	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表

※令和４年度以降入学生用

2学期	生活文化の多様性と国際理解	1、自然環境 ・地形 ・気候	a:資料集や通信機器を利用して地球上の様々な地形や気候を知り、提示された課題に関連する土地や地名から特徴を見つけ出すことができる。 b:提示された課題に関する資料から、１学期に学んだ事項を踏まえて地形や気候の特徴を捉え、利点欠点を考えることができる。 c: 提示された地形や気候が現在の姿に至った過程とそこに発達する衣食住文化とのつながりを見出すことができる。	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表
		2、産業 3、宗教	a:各国の衣食住文化を知り、その地域の特徴を見つけ出すことができる。 b:異文化どうしが隣接する地域においていかに共存するべきかを考察し、周囲へ意見を述べることができる。 c:提示された課題に対し、国や宗派など各立場から発生しうる意見の対立を想定し、解決につながる意見を自分なりに考えることができる。	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表
3学期	生活文化の多様性と国際理解	4、国家・民族・言語 5、移民	a:多種多様な人間生活があり、それを尊重しながら共存できる。 b:多種多様な国家・民族・言語が存在する過程を追及し、受け入れることができる。 c:メディアなどのニュースを活用して、グローバル化した世界であるが故の問題点を調べ、意見をまとめることができる。	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表	授業プリント 定期考査 資料読解 レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度